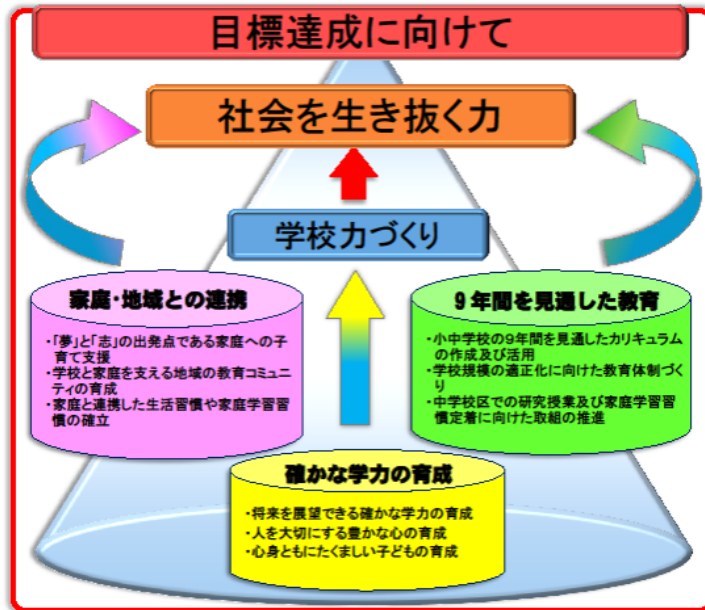


## (1) 五條市教育基本計画(五條市「夢・志」教育プラン)より

- ① 将来に向けた「確かな力」を育むことが学校教育の役割
- ② 「学校力づくり」、とりわけ教師の指導力の向上が必要



## (2) 五條市における取組例

### ① 教師としての自覚と意欲……「やる気の醸成」

- ・児童理解、保護者理解の重視
- ・「教師が子どものやる気を変える」……教師の位置
- ・教育委員会と教職員のつながり
  - ・教職員との懇談、ヒアリングの重視(校長・教頭・初任者等)
  - ・市アドバイザーチーム(学校支援プロジェクト)の学校訪問

**五條市教育振興基本計画**

(H28年9月1日制定)

平成25年(2013年)3月、五條市教育委員会は、これまでの本市の教育の成果と課題を検証し、今後の目指すべき教育の姿を構想し、教育振興のための施策に関する基本的な計画を5年間(H25～H29)として策定し、「夢・志」教育プラン「五條市教育振興基本計画」にまとめました。その結果、学校施設の顕微化、中学校へのエアコン導入などのハード事業、学力・体力・規範意識の向上を目指す着実な成果をみとるところです。

そして、この度、中間年の平成27年にあたり計画の中間見直しを行い、改めて5年間(H28～H32)の基本計画を策定し、新たな取組を進めることとしました。

**【五條市教育の目指す姿】**

**五條市教育大綱**

心に大きな「夢」と「志」をもち、その実現に向けて考え、行動し、社会を生き抜く人間を育む町・五條市。人々は、自然共に高まるようとする意欲をもち、目標を実現しようとする意志をもち、未来を創造しようとしています。学校教育はもちろん、社会教育においても、ふるさと五條の豊かな教育資源を活かしながら、生涯を通じて学び合い、協力し合い、次代の地域社会を支える人づくりを進めています。そして、人々は、ますます、一人一人の「夢」と「志」をふくらませています。

**【計画の目標】**

**目標一 市民みんなで子どもを育てる**

五條の豊かな教育資源を活かしながら、学校・家庭・地域の教育力の高揚と連携の強化を図り、市民みんなで子どもを守り育てることのできる環境をつくります。

**目標二 社会を生き抜く力を養う**

学校教育を中心に、先人が培ってきた歴史や文化、規範を継承し、ふるさと学習を進め、時代の変化の中で社会を生きぬく力、地域や他者を思いやる心、未来を開こうとする意志と実践力を育みます。

**目標三 生涯学習社会を整える**

市民が、生涯にわたって学び、自然共に高め合い、生き甲斐のある人生を送れる社会、そのための芸術や文化・スポーツの振興への場を整え、「住んでよかった」といえるまちづくりを進めます。

**目標四 家庭の教育力を育む**

家庭は、市民が「生きがい」をもち、未来・社会に羽ばたくための基盤となる場です。子育てや教育の充実、就学相談等の学習機会の設定、情報提供の活性化を進め、豊かな家庭教育力を育みます。

## (2) 五條市における取組

### ② 指導力の向上……「分かる授業」「魅力ある授業」を進めたい！

#### ア 市が進める教育計画への教職員の参画

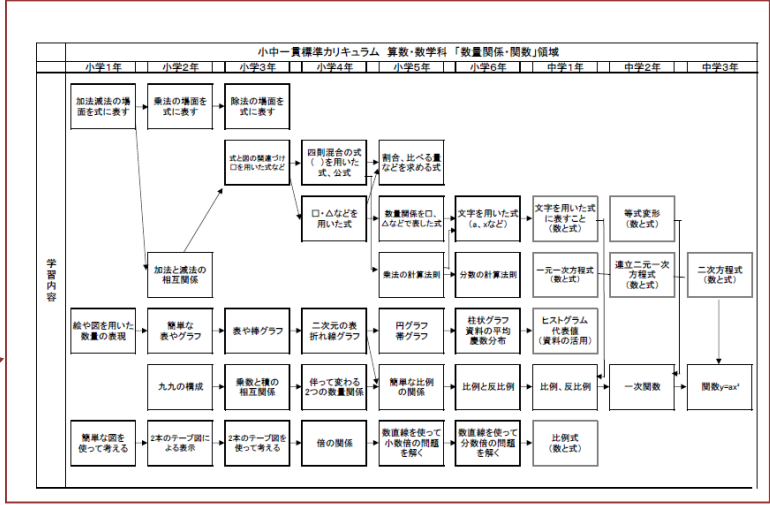
- ・2つの委員会と3つのプロジェクト 平成24年度より(別紙1)
- 「学力向上推進委員会」……教員が中心となって熟議
- 「学力向上プロジェクト」……提案会の実施(ボトムアップ)
- ⇒ 施策化へ

#### イ 校内研修の充実と市教科等研究委員会の活性化

- ・校内研修会の充実 平成26年度(78回)平成29年度(162回)
- ・中学校区小中学校合同の研修会 平成26年度(23回)平成29年度(57回)
- ・市教科等研究委員会の活性化
- ……「9年間を通したカリキュラム」の作成(別紙2)
- 「授業プランシート」の作成と活用(別紙3)

#### ウ 自主的な研修機会の設定

- ・先進地視察への参加機会の拡充 ……秋田県への研修(29年度)等
- ・Good Job アカデミー(教師塾)の実施
- ……平成26年度から実施(H28～教員の自主運営のもと実施)



### ③ 児童・生徒の自主学習の定着に向けて

- ・自主学習(家庭学習)の奨励……プロジェクトからの提案
- 啓発冊子の発行
- 中学校区における「家庭学習の手引き」の作成と配布(別紙4)

### 「主体的・対話的で深い学び」授業プランシート

五條市教育委員会

本時の目標 ( )

◎本時までに (準備)

- ① 授業主軸の発問・問い
- ② 教材研究
- ③ 教材研究
- ④ 教材研究
- ⑤ 教材研究
- ⑥ 教材研究
- ⑦ 教材研究
- ⑧ 教材研究
- ⑨ 教材研究
- ⑩ 教材研究
- ⑪ 教材研究
- ⑫ 教材研究
- ⑬ 教材研究
- ⑭ 教材研究
- ⑮ 教材研究
- ⑯ 教材研究
- ⑰ 教材研究
- ⑱ 教材研究
- ⑲ 教材研究
- ⑳ 教材研究
- ㉑ 教材研究
- ㉒ 教材研究
- ㉓ 教材研究
- ㉔ 教材研究
- ㉕ 教材研究
- ㉖ 教材研究
- ㉗ 教材研究
- ㉘ 教材研究
- ㉙ 教材研究
- ㉚ 教材研究
- ㉛ 教材研究
- ㉜ 教材研究
- ㉝ 教材研究
- ㉞ 教材研究
- ㉟ 教材研究
- ㊱ 教材研究
- ㊲ 教材研究
- ㊳ 教材研究
- ㊴ 教材研究
- ㊵ 教材研究
- ㊶ 教材研究
- ㊷ 教材研究
- ㊸ 教材研究
- ㊹ 教材研究
- ㊺ 教材研究

◎本時 (時間は目安です)

進行要	授業形態	ポイント
① めあてをつかむ (5分)	全体	・本時の目標を提示 「何を学ぼうとしているのか?」「どんなことを学ぼうとしているのか?」 本時の目標 ( )
② 見直す (5分)	個別・全体	・基本的事項の確認 ・ゴール(筋路)や方法の手帳 基本事項の再確認
③ 課題解決をする (25分)	個別・ペア・グループ・全体	・個人による課題解決 ・ペア、グループ、教員含めなどの学習 ・課題を明確にした目標 ・より深い理解への導き上げ
④ まとめる (2分)	個別・全体	・本時の目標の再確認 授業主軸の発問・問いを振り返る 方法、態度、態度を学ぶ
⑤ 確認をはかる (5分)	個別・全体	・今日の授業の振り返り ・今日の学習の内容確認 「何を学ぼうとしているのか?」「何を学ぼうとしているのか?」 本時の目標 ( )

### 「物元氣なあいさつ 明るい返事」

中学校区共通

1. 挨拶

2. 挨拶

3. 挨拶

4. 挨拶

5. 挨拶

6. 挨拶

7. 挨拶

8. 挨拶

9. 挨拶

10. 挨拶

11. 挨拶

12. 挨拶

13. 挨拶

14. 挨拶

15. 挨拶

16. 挨拶

17. 挨拶

18. 挨拶

19. 挨拶

20. 挨拶

21. 挨拶

22. 挨拶

23. 挨拶

24. 挨拶

25. 挨拶

26. 挨拶

27. 挨拶

28. 挨拶

29. 挨拶

30. 挨拶

31. 挨拶

32. 挨拶

33. 挨拶

34. 挨拶

35. 挨拶

36. 挨拶

37. 挨拶

38. 挨拶

39. 挨拶

40. 挨拶

41. 挨拶

42. 挨拶

43. 挨拶

44. 挨拶

45. 挨拶

46. 挨拶

47. 挨拶

48. 挨拶

49. 挨拶

50. 挨拶

